



南部教育事務所便り「南の風」

令和6年8月23日 南部教育事務所 第4号



～地域ぐるみでつくる未来への道しるべ～

令和6年度 県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」(北諸県・西諸県地区)が、8月3日(土)にえびの市文化センターや南九州大学(都城キャンパス)、各学校を会場として開催されました。

本研修会では、学校・家庭・地域・企業や市民団体等が一体となって、「どんな子どもたちを育てたいのか」「どんな地域をつくりたいのか」など、子どもを中心に考え目的や目標を共有し、連携・協働することで、持続可能な地域社会の構築を目指しています。

実践発表や講話、対話を通して「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」について考える時間となりました。また、本年度も、各会場で多くの教職員や地域の皆様に御参加いただき、熱心な「対話」(語り合い)が行われました。



学校と地域・家庭が連携・協働することは、「社会に開かれた教育課程」の具現化につながります。子ども達にとっても、多様な人々との出会いや体験等の充実が、地域社会の担い手としての力となっていきます。

講話



広島県府中市コミュニティ・スクール連絡協議会 会長 立石 克昭 氏
広島県府中市教育委員会 府中市教育課程研究センター 副センター長 竹内 博行 氏

「地域の中に学校を 学校の中に地域を」と題して御講話いただきました。地域や企業と学校がそれぞれの立場でできること、同じ方向を向いて取り組んでいくことの重要性等、大変参考になる内容でした。

『いこるところに人は集まる』という立石会長のお言葉もありましたが、講師の方々の熱量が参加者の皆様の心にも火種をつけたのではないのでしょうか。まずは、私たち大人が地域のよさを知り、好きになること。そして、「子ども達のために」という熱い思いや願いを行動に移すことの大切さを教えていただきました。



実践発表



飯野高等学校 指導教諭 梅北瑞輝 氏

「地域をベースにした探究から広がる学び」を発表題に、社会や地域の課題解決に取り組む地域探究活動等について紹介していただきました。飯野高校の生徒たちが主体的に考え、行動する姿に感動した方も多いのではないでしょうか。多様な地域をフィールドにして、子ども達の学びの場を創出されているしくみが魅力的でした。



対話

「自分のことが好きになる子ども達を育てるために、今、私にできること」をテーマに語り合いました。



参加者の声 ～アンケートより～

- ・子どもは、地域力によって育成できると思います。私自身も、ワクワクしながら子ども達に関わっていきたいです。
- ・教育課程に現存するものを再度CS(コミュニティ・スクール)の視点で見直し、充実させる必要があると感じました。
- ・児童生徒や地域のことを真剣に考えてくださる方は貴重だと思います。地域の方を巻き込む枠組みをつくりたいです。

南部教育事務所のホームページでも、随時情報を発信しています。研修等にご利用ください。
<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら
Tel (0986)23-4521
Fax (0986)25-8914

